

# 平成 23 年第 1 回 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事要旨

日時：平成 23 年 7 月 13 日（水）

午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分

場所：帯広市役所 10 階 第 6 会議室

## ■ 出席委員

辻委員、堀委員、丸山委員、鳥本委員、山下委員、中岡委員、廣瀬委員、高橋委員、  
宮澤委員、飛岡委員、吉田委員、砂田委員、橋枝委員、宮嶋委員、紺野委員、  
細矢委員、神山委員、沼田委員、鈴木委員、新沼委員、大西委員、福原委員、  
斉田委員、赤間委員、長澤委員、小田委員

## ■ オブザーバー

音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、  
大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局

産業振興・地産地消部会、医療・福祉部会、教育部会、人材育成部会、企画部会、  
環境部会

## ■ 事務局

伊藤政策推進部長、山崎政策推進部政策室長、橋向政策室政策副主幹、  
高橋政策室政策主査、山本政策室主任

## ■ 会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員、オブザーバー、事務局紹介
- 4 懇談会の運営
- 5 座長、副座長選任
- 6 議事
  - (1) 定住自立圏構想の概要と十勝圏における取組について
  - (2) 十勝定住自立圏共生ビジョン（原原案）について
  - (3) 会議のすすめ方、今後スケジュールなどについて
  - (4) 意見交換（圏域の将来像などについて）
- 7 その他
- 8 閉会

## ■ 議事要旨

(開会に先立ち、委員への依頼状が交付された。)

### 1 開会

### 2 市長挨拶

帯広市長米沢則寿よりあいさつ

### 3 委員、オブザーバー、事務局紹介照会

事務局から各委員、オブザーバー、事務局を紹介 (市長退席)

### 4 懇談会の運営

事務局より、懇談会の運営について説明

### 5 座長、副座長選任

設置要綱第5条第2項の規定に基づき、互選により辻委員を座長に選出、座長の指名により橋枝委員を副座長に選出

### 6 議事

事務局より、委員29名中26名が出席し、過半数に達しているので、設置要綱第6条第2項の規定により、会議が成立している旨を報告

#### (1) 定住自立圏構想の概要と十勝圏における取組について

##### 【座長】

「定住自立圏構想の概要と十勝圏における取組について」を議題とする。事務局から説明いただきたい。

— 資料3～5に基づき事務局説明 —

##### 【座長】

ただ今の説明について、質疑を行う。ご質問等があれば、ご発言いただきたい。

(質問等なし)

#### (2) 十勝定住自立圏共生ビジョン(原原案)について

##### 【座長】

次に、「十勝定住自立圏共生ビジョン(原原案)について」を議題とする。事務局から説明いただきたい。

— 資料6に基づき事務局説明 —

### (3) 会議のすすめ方、今後スケジュールなどについて

#### 【座長】

次に、「会議のすすめ方、今後スケジュールなどについて」を議題とする。事務局から説明いただきたい。なお、共生ビジョン（原原案）に関する質疑は、後の次第にある「意見交換」において一括して行う。

— 資料7,8に基づき事務局説明 —

#### 【座長】

今日が第1回目の懇談会で、その目的は、委員が共通認識に立つことと、「定住自立圏の将来により目指す圏域の将来像」に関する意見交換をすること。将来像に関しては、特に「十勝らしいキーワードを提案して欲しいというのが事務局からの課題である。今日は、そのような課題を懇談して、2回目の懇談会でその確認をし、パブリックコメントにかけることになっている。

2回目の懇談会では、主に具体的な取組みに関して意見交換を行い、その意見について、市町村間で協議し、行政の側で直ちに反映可能なものについては、今回のビジョンに反映させ、協議に時間を要するようなものについては、「今後に向けての意見等」として整理する。

3回目の懇談会では、行政側で整理した内容を更に協議して、懇談会としての案をまとめるということになっている。これを3回でやるのは、なかなか難しいかとは思いますが、皆様のご協力のもと、うまくまとめていきたと思っています。

なお、懇談会で「次回に向けての意見等」として整理した項目については、行政側で次年度以降の追加協定やビジョンの見直しに向けて協議を行い、その検討状況を翌年度のビジョン懇談会で報告するということである。

以上の説明に関して、質疑を行う。ご意見・質問等があれば、ご発言いただきたい。

#### 【委員】

資料7の中に、括弧書きで消費生活、電算システムというのがある。それと最初の資料3の19市町村の取組みの12ページに作業部会の設置という所があり、その右の方に、環境、消費生活、電算システムが破線括りになっているが、協定の中では、消費生活、電算システムというのは見当たらないので、この点に関する補足説明をお願いしたい。

#### 【事務局】

協定した19項目以外にも、当初60ぐらいの提案があり、その項目を整理しながら協議を行い、最終的には19項目での合意に至ったが、消費生活と電算システムなどの項目は、協議に時間を要するというので、継続協議の扱いになっている。

なお、継続協議になった項目の内容については、次回に説明する予定である。

また、資料3の破線括りとなっているものとそうっていないものの違いは、大きなものではなく、例えば産業振興だと、今回7つほど協定項目となっているが、そういった複数の項目をまとめて協議した部会と、それぞれ一つずつの項目の協議をした部会との違いである。

#### 【座長】

他にはないか。

(意見等なし)

意見が無いようなので、事務局の説明どおり、懇談会を進めることとする。なお、次回の予定にある「具体的な取組」に関する協議は、人数も多いことから複数のグループに分けてはどうかという説明もあった。この件については、私と事務局の方で調整させていただく。

#### (4) 意見交換（圏域の将来像などについて）

##### 【座長】

次に、「意見交換（圏域の将来像などについて）」を議題とする。事務局から説明いただきたい。

— 資料6、9、10に基づき事務局説明 —

##### 【辻座長】

この将来像については、資料ー10「意見集約シート」という形で、7月21日までに意見を出してくださいと事務局の方からお願いされているが、本日も予定時刻までにまだ時間があることから、この将来像について意見交換をしたい。

また、先程、説明があった共生ビジョン（原原案）全体を通しての意見や質問についても併せて伺いたい。

ご意見・質問等があれば、ご発言をいただきたい。

##### 【委員】

定住自立圏の構想が出てきた背景には、人口減少や少子高齢化があるという説明だったが、結局、地方を軽視してきた結果、このような形になっているのではないかと思う。

今までの教育の流れでも、どちらかという中央集権的なそういう明治時代以降の流れがあり、今でも学校では、お互いにどこの大学に行こう、入ったという、中央の大学を目指して人材を中央に集めるような結果をもたらしたというように思っている。

この構想が出来た背景が今ひとつわからない。日本の国のあり方を大きく変えようとしているのか、たまたま、人口減少したからそれで何とかしようということなのか。

予算が付いたから我々が取り組んで、予算が無くなった時に元に戻ってしまう。そのようなことではせっかくこうした会議を持った意味も無くなると思う。

定住自立圏も非常に大事な方向だとは思いますが、それを日本全体の一つの流れとしていくためには、人間の考え方というのか、中央は文化的に優れていて、地方は劣っているという、そうした風潮がずっとあったので、それを本当に変えていかないと少子高齢化は解決されないと思う。そうした基本的な部分の捉え方というのはどうなのか？見解があったら、聞かせていただきたい。

##### 【事務局】

非常に難しいお話だが、基本的な考え方は、委員の考え通りではないのかと感じている。帯広市が中心市ということで今回進めているが、十勝においても、帯広市の発展は十勝の町村の発展とともに歩んできたということであるし、国においても東京だけの一人勝ちということが今非常に問題になっている。地方が発展してこそ中央が発展していく。こういった歴史に立ち返って、今回の構想が出てきたものと考えている。

##### 【委員】

そういう意味では、子供達に地方が大事だと訴えるような、これから地方としての人材がそこから生まれてくるような教育のあり方を、これは長い取り組みにはなると思うが、そうしたことをしっかりと取組む必要があるのではないかと思う。

**【座 長】**

事務局の方で、当初の60項目に教育関係のものがあるようであれば、報告していただきたい。

**【事務局】**

今回の定住自立圏の取組を進めるに当たり、はじめに、市町村間が連携をすることによるメリットがあると考えた60の項目の中には、学校教育に関するものは無かった。

社会教育については、協定項目にもあるように、生涯学習施設の連携などの項目があった。

**【座 長】**

学校教育に関する項目は無かったということなので、委員には、具体的な取組の意見の集約のところで、そのような建設的な意見を出していただきたい。

**【委 員】**

共生ビジョンの医療分野について、厚生病院の三次救急センターの協力・支援と帯広高等看護学院の支援とあるが、これは、どこの看護学院のことなのか確認したい。

**【事務局】**

十勝圏複合事務組合が運営している高等看護学院である。

**【委 員】**

医療に関しては、この二つが非常に大事だということで決められたことなのか？高等看護学院を充実させると、看護師の解消につながるという意味で決められたことなのか伺いたい。

**【作業部会】**

医療・福祉作業部会では、7項目の協議をしたが、最終的には、医療分野については2項目について協定を締結した。既に19市町村で取組んでいる救命センターと高等看護学院についても協定に盛り込んだものである。

7項目のうち、医療分野で協定締結したのが2項目、残りの2項目は継続協議ということになっている。

**【委 員】**

高等看護学院を出た人達が、十勝にどれぐらい散らばって、役割を果たしているか伺う。

**【作業部会】**

平成22年度は、卒業生が38名おり、そのうち十勝管内の病院に就職された方が34名で、そのうち帯広市内が32名、管内の町村が2名となっている。残りの4名は進学という内訳である。

### 【委員】

その程度しか帯広から離れていないが、そこに支援して、十勝に拡がっていると言えるのか疑問である。

### 【事務局】

地域医療体制の充実ということで、今回、高等看護学院の広域運営ということ掲げているが、これは、既存の事業として取り組んでいるものをここに記載をしているということで、当然、これ以外にも色々あると考えている。

それを取組項目にある「地域医療の課題解決に向けた検討」を行う中で、その方向性を見出していき、この懇談会の中で、地域にとって必要なことを意見として出していただき、それをまとめさせていただきたいと思っている。

### 【座長】

医療は、我々の命に直接関わることであるから、帯広市に住んでいる方と町村に住んでいる方とは考え方や熱が違ふと思われる。そういう意味でもこの場でこんな医療があったらいいということが、定住自立圏のビジョンになっていくと思うので、具体的な取組の協議の中で、先ほどのような意見を出していただきたい。

### 【委員】

質問だが、今回の定住自立圏は、もともと十勝複合事務組合とか、消防の広域化の検討とか、いくつかの町村が、十勝圏域で様々な事業を展開し、行われていると思うのだが、その位置づけと、今、これからやる定住自立圏はどのような違いがあるのか。

### 【事務局】

高等看護学院やゴミの処理、し尿の処理、下水道の処理というのは一部事務組合でやっている。これは、十勝管内の市町村が共同で事務処理を行うシステムで、共同で経費を分担しながら、共同で事務処理を行う。

定住自立圏は、帯広市と18の町村が対いで協定を結ぶもので、たまたま、今回は、やるのがすべて同じになったが、これからいろいろ協議が進み、この制度が成熟してくれば、対一が3つしかできないという場合も考えられる。

一部事務組合は、十勝全部で共同処理をし、定住自立圏はお互いに必要なことを選択してやっていく。そこに違いがあると考えている。

### 【委員】

定住自立圏は、十勝全体が良くなって、定住して、自立して、というイメージだったが、今の説明では、対一で個々にやりとりするというのが今回の定住自立圏のビジョンの考え方。そうであれば、一部事務組合をもっと発展させた方が、より効率的ではないかなという考えもあるのでは。

### 【事務局】

一部事務組合は、法律で決められたもので、議員を置き、費用を分担しながら、共同事務処理をする組織。

今回行うのは、法律ではなく、国の要綱で示されたもので、周辺町村が、中心市と組んで、それぞれの役割分担をしながら、これから成長していきましょうということ。

たまたま、今回は同じ事業で協定を結んだ。それを全部一緒にやるのだから一部事務組合でやればいいのかという話もあるが、費用負担の問題や一部事務組合に入る・入らないなど、色々な問題が出てくる。

そういうことではなく、個々に適切な判断をできるようなシステムである定住自立圏で取り組める事業を進め、十勝管内の町村と帯広市がお互いに発展をしていきましょうという制度だということ、ご理解を願いたい。

#### 【座 長】

なかなか難しいが、定住自立圏自体が、中心都市帯広と各町村のお互いの協定だと。だからといって、19市町村が一緒くたになって、まっしぐらに何かをやるというのではなくて、個々の連携があって、それが集まった時に十勝の将来像が見えてくるという意味合いなのかなと思っている。

例えば、昔、構想があったようだが、町村合併で十勝が一つの市になってしまうということになると、いろいろ権利の主張があるので、もっと緩く、帯広市と各町村が緩やかに連携しながらやっていくのが定住自立圏ではないかと私は思っている。

#### 【委 員】

ビジョンは、十勝全体じゃなくて、帯広市と音更とか芽室とかのビジョンなのか？

#### 【事務局】

これは、十勝19市町村のビジョンである。

#### 【委 員】

誤解をしないように確認をしたい。私はどういうイメージで、アイデアを考えていけばいいのか。私としては、十勝全体をイメージして、その中でじゃあ自分の町はどういうことになるのか、そのリーダーシップを帯広市さんにとってくださいよ、というイメージだった。

ところが、帯広市と例えば〇〇町の対一の関係ですということだと、委員としては、自分の町のことを考えればいいのかなど思ってしまう。

そうではなくて、私は、十勝全体で連携をしたビジョンを作っていくべきだと考えている。十勝圏の自立をうたっているのだから。一委員としてビジョンをどういう範囲で考えていったらいいのか。

#### 【事務局】

懇談会で協議いただきたいのは、それぞれの分野で専門の方が、十勝という視点で、具体的にご意見やご提案としていただきたいということ。結果としてできるものが、対一が18個になるか、対一が1個しかできないか、それは市町村の協議の中で整理されていくことだと思っている。

#### 【委 員】

そうすると、私たちは、十勝全体のビジョンをアイデアとして出していくべきだということ、でいいのか？

### 【事務局】

委員には、専門的なこととお話していただいて、帯広市がそこで何らかの役割を担い、町村はこういう役割を担って、お互いに協力しながら成長しませんかということ。

それが一対一で18個できれば、こんな素晴らしいことはないが、それぞれの町に産業はあるので、私の町はそういうことではなくて、ということであれば、それはできない場合もある。

### 【委員】

さっき中央集権があたかも悪いかのごとくの話もあったが、これは地方だって努力しなければならぬ。だから、住民と行政とが協働してまちを創る。具体的に住民が知恵を出し、夢を実現するようなまちづくり。これが基本にあるのではないか。

その辺りのことをもっと盛り込んで欲しいと思っている。

### 【委員】

今までの話の経過を聞いていると、何か最初から決めつけられているように見受けられる。今回行政が一生懸命作った「たたき台」という共生ビジョンに対し、自分達は、現場で実際にこういう部分は違うよだとか、これからの十勝はこのように描いていけばいいのだとか、そういう部分を見据えて方向性をつけていくのが、我々の視点だと思う。

このビジョン中で、例えば生涯学習の部分では、帯広以外にも町村で生涯学習の施設だとか、居場所とか、子供の支援センターとか、いろんな所で良いことしている町村がある。そういう部分を情報提供するというのの一つだと思う。

十勝は、帯広市に頼るのではなく、今後は、全体で十勝を考えていかなければならない時期にきている。だから、今やらなければならないことは、各分野で、今後、どのような展開ができるのかということを考えること。

また、生涯学習情報のホームページを通じて住民に提供とあるが、インフラの部分で、整備が本当に100%行われているのか、住民がそれを本当に見ることができるのか、また、ツイッターというのがあるが、それらを住民の方が見ることができるのか、色々、検証していかなければならないことがあるのに、ITなどが全然書かれていない。その辺の部分はどうなのか。

### 【事務局】

ここで明快な答えはちょっと難しいですが、そういったご意見は非常に参考になるので、今回の懇談会や2回目の懇談会で、このビジョンの内容を更に充実させていきたいと考えているので、参考となる意見をお寄せいただきたいと考えている。

### 【座長】

事務局でそういうことに関しても調べて、次回に出していただければと思います。

もう予定の時間に近づいているので、この将来像について、先ほどの資料10、意見の集約書に言い足りないことを書いていただき、その意見をもとに次回の懇談会につなげていきたいので、よろしくお願ひしたい。

ここに書かれている19項目以外でも、いろんなことでこんなことをやればおもしろいのではということもあつたら、書いていただければ議論が進むのではないかと考えている。

決して押し付けではないと思うので、自由な意見を出して、十勝の将来に向かって有意義な

会談にしたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

## 7 その他

### — 次回の開催等について 事務局説明 —

#### 【座 長】

ただ今の説明について、質疑を行う。ご質問等があれば、ご発言いただきたい。

#### 【委 員】

少し前でもいいので、資料を事前に送付願ひたい。

#### 【事務局】

なるべく事前に配布できるよう努力する。中には、直前まで修正をかけているものもあるので、その辺はご理解いただきたい。

#### 【座 長】

修正項があっても事前にある程度のものがあった方がよい。当日にここが変わりましたということであれば、完全でなくてもよいのではないか。

その他、質問等はあるか。

#### 【委 員】

ビジョン原原案の30ページに、「十勝」の強みを十分生かして書いてある。では「十勝」の強みって何だっというのを、すり合わせをしておく必要がある、イメージが違っていると、ボタンのかけ違いになる。次回には、ぜひその辺の話をしたい。

#### 【座 長】

わかりました。「十勝」の強みですね。

その他、質問等はあるか。

(質問等なし)

それでは、本日の懇談会は、これにて閉会する。